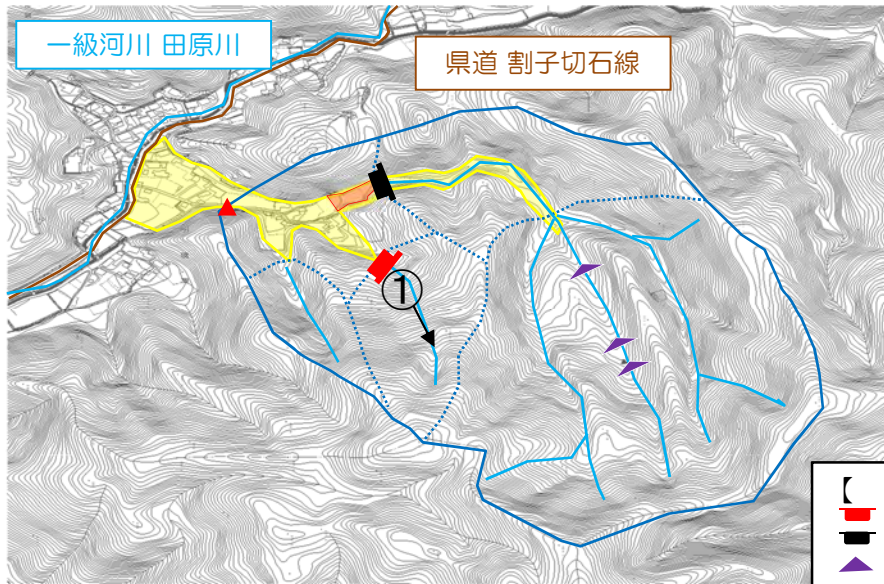


1. 事業説明シート

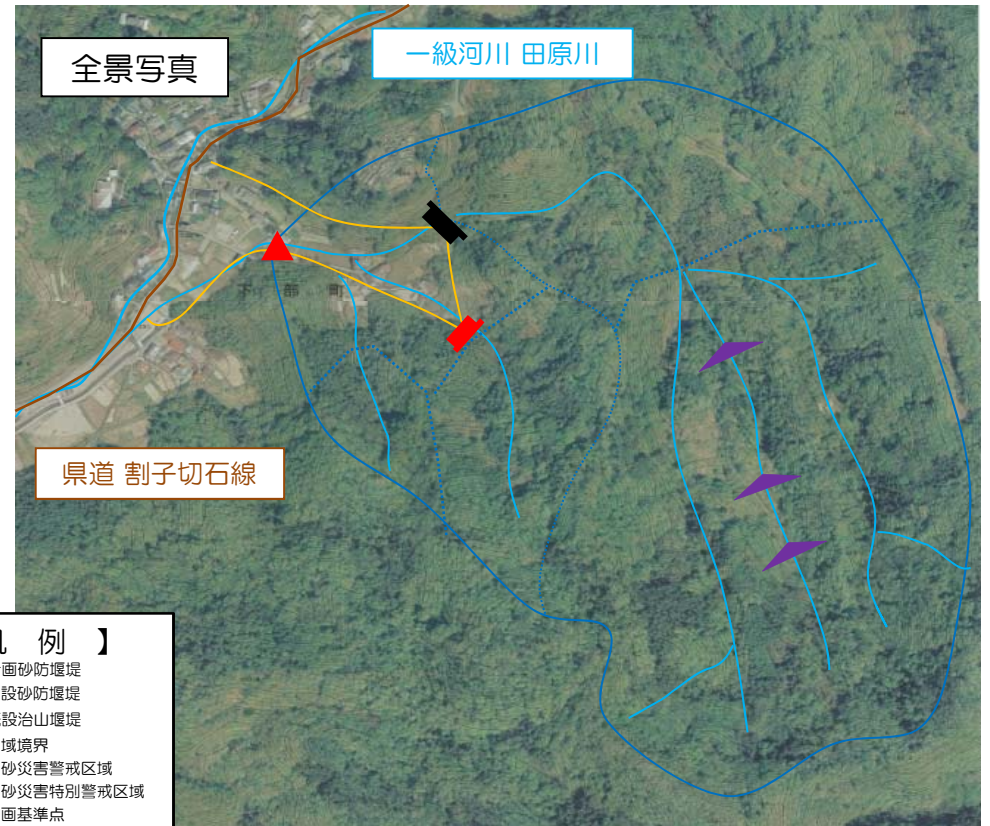
事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	南巨摩郡身延町上田原	地区名	大津賀沢 (オオツガサワ)	事業主体	山梨県																																						
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																									
①課題・背景 本溪流は流域面積0.36km ² の土石流危険溪流である。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。今後の台風や集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、人家8戸のほか県道、町道等の公共施設も存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測される。そのため、土石流を抑制する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
②整備目標・効果 <input type="checkbox"/> 主要目標 <input checked="" type="checkbox"/> 土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 30% < 70%※ ・重要公共施設の有無 有 (県道、消防団詰所) (保全対象=人家8戸、県道240m、町道200m等)				②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
<input type="checkbox"/> 副次目標 ー <input type="checkbox"/> 副次効果 ー				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>460 百万円</td> <td>工期</td> <td>R4~R12</td> <td>基準年</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>359 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">487 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>359 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">62 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">189 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">13 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">223 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.4</td> </tr> </table>				総事業費	460 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3	経済効率性	費用	359 百万円	便益	487 百万円		建設費	359 百万円	一般資産被害抑止	62 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	189 百万円			百万円	公共土木施設等被害	13 百万円			百万円	その他※	223 百万円		B/C			1.4		
総事業費	460 百万円	工期	R4~R12	基準年	R3																																								
経済効率性	費用	359 百万円	便益	487 百万円																																									
	建設費	359 百万円	一般資産被害抑止	62 百万円																																									
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	189 百万円																																									
		百万円	公共土木施設等被害	13 百万円																																									
		百万円	その他※	223 百万円																																									
B/C			1.4																																										
				※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は1.0を超えており、経済効率性は確保されている																																									
				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																									
(2) 整備内容				⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																									
①整備内容 砂防堰堤工 1基 H=6.0m L=20.0m				地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした																																									
②着手年度 令和4年度 ③完成見込年度 令和12年度				⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮																																									
④総事業費 約460百万円 (国費230百万円(5/10)県費230百万円(5/10))				⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいている																																									
⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和4年度 詳細設計 20百万円 令和5年度 用地測量 20百万円 令和6年度 用地取得・立木補償 60百万円 令和7年度 用地取得・立木補償 60百万円 令和8年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和9年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和10年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和11年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和12年度 砂防堰堤工事 60百万円				総合評価 [貢献度ランク: a]																																									
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				(4) 事業位置図等																																									
⑥既整備内容・期間・事業費 既整備内容 砂防堰堤 1基 治山堰堤 3基				位置図 																																									

2. 添付資料シート

流域図



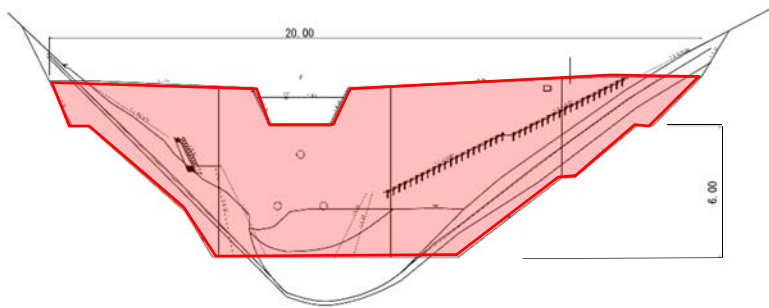
全景写真



【 凡 例 】

- 計画砂防堰堤
- 既設砂防堰堤
- ▲ 既設治山堰堤
- 流域境界
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- ▲ 計画基準点

堰堤正面図



荒廃状況



保全対象：県道割子切石線

